

# 次年度に延期となりました

一般社団法人日本建築学会関東支部埼玉支所

## 「日本のコミュニティアーキテクト」担い手育成・制度構築への展望

日本建築学会では2つの「近代の空間システム・日本の空間システム特別研究委員会」「サステナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト特別研究委員会」等において、新たな地域空間文脈デザインの理念形成とその担い手育成の課題を提議した。(シンポジウム「私の考える日本のコミュニティアーキテクト 2009」、総合論文誌 10 号『場所性・地域継承空間システムと都市建築のフロンティア』2012。)

標準デザインから「固有の地域まちづくり」へと、まちづくりの目標は転換した結果、市民側からも行政側からも、その計画手法と担い手の新たな展開が議論された。

現在は、「地域創生」「地域コミュニティ」の課題は東日本大震災復興等にも連続し、様々な取り組みが各地域、各主体によって始まっており、新たな計画体制の検討・構築が必要とされている。本会では新たな担い手としてのコミュニティアーキテクト体制構築について、埼玉県の場で現在と今後の課題を広く議論し、地域・市民に提起するものである。

日時	2020年3月28日(土) 13:00~15:35、懇親会 16:00~
場所	埼玉会館 2階ラウンジ さいたま市浦和区高砂 3-1-4 電話 048-829-2471
定員	100名 事前申込制 ※下欄「シンポジウム参加申込みについて」をご覧ください。 申込み締切日 3月6日(金) 但し、先着順につき定員に達し次第締め切ります。
参加費	無料 資料代 1,000円は当日お支払いください。懇親会参加者は別途 2,000円頂戴します。

### プログラム

司会 日色真帆 東洋大学

1. 趣旨説明 「景観コミュニティデザイン」と「日本のコミュニティアーキテクト」育成と計画制度の議論  
宇杉和夫 FB日本コミュニティアーキテクト機構

2. 論点提示 日本の地域まちづくりの経過からコミュニティアーキテクトを考える  
西村幸夫 神戸芸術工科大学・東京大学名誉教授

### 3. シンポジウム

意見 I	コミュニティアーキテクト教育	鷗飼 修	滋賀県立大学
意見 II	日本コミュニティアーキテクト機構	千島孝弘	伊勢市タウンマネージャー
意見 III	地域まちづくり実践の課題	渡辺 斉	ヘリテイジマネージャー・新潟県
コメント I	文化的立場から	成岡 茂	伝統木構造の会
コメント II	防災復興の立場から (質疑)	清野 隆	江戸川大学
コメント III	川越の町並み形成と市民活動	荒牧澄多	川越蔵の会
コメント IV	地域環境財と都市形成	土屋愛自	さいたま市都市計画部長
コメント V	CA+住宅ビルダーの伝統継承 (討議)	早瀬幸治	東日本地所：さいたま市

### 4. まとめ

桑田 仁 芝浦工業大学

### シンポジウム参加申込みについて

シンポジウム参加ご希望の方は、

- ① 氏名 ② 所属 ③ 電話番号 ④ Email アドレス  
⑤ 懇親会への参加の有無

を記入したメールを下記アドレスに送信してください。

※送信先メールアドレス s\_gakkai@zpost.plala.or.jp

埼玉支所事務局 黒田 電話 048-866-8257

### 資料集「日本のコミュニティデザインと コミュニティアーキテクト」原稿募集

※寄稿に際して、別紙の要領をご覧ください。

※A4用紙(1~2頁)に表題、氏名、所属を記入ください。

※原稿用テンプレートは下記からダウンロードください。

<https://bit.ly/2PwC2NN>

※原稿の送付先 kuwata@se.shibaura-it.ac.jp

芝浦工業大学 桑田 \*原稿締切日 3月8日(日)

「日本のコミュニティアーキテクト」担い手育成・制度構築への展望

資料集『日本のコミュニティデザインとコミュニティアーキテクト』

—SDGs の時代・募集原稿に期待したい—

宇杉和夫

◆原稿テーマ：以下のメモは必要とする方に対する参考資料です。

- ・「シンポジウムのテーマ」「資料集のテーマ」の他に、それと関係する領域を広く考え、身近な自己の活動・理念を基軸に意見を述べてくださることを歓迎します。
- ・「日本のコミュニティデザイン」あるいは「世界（各地）のコミュニティデザイン」について、どのような考え・活動・制度があったか、あるか、または、それに対する自己の考え・評価・感想等を（宗教・主義等とは別に）自由に述べることに期待しています。
- ・20世紀からの地域環境・地球環境の変化とその「持続性」「開発・計画」「環境問題」「自然災害」の経過を振り返り、21世紀の地域創生・再生等の課題について、またその方法について、自己の立場から、あるいは自己を超えた立場から述べたものを期待します。
- ・日本の建築・都市・地域に関する物的・空間的建設の方法・制度・教育・体制・担い手の歴史的経過を振り返り、20世紀にどのような意見提言があったか、また、21世紀にどのような対処が必要とされているかを、紹介するもの、意見を述べたものを期待します。
- ・1970年代前後に、或いはそれ以前に、それ以後に、「コミュニティ」に関する様々な検討があったのを振り返り、自然崇拜・祭り・行事芸能他にもみられる、日本社会・地域形成における「コミュニティ」概念の特徴、またその有意性等について述べたものを期待します。
- ・21世紀の多様性・共生・地域固有性・持続性・主体性、また防災災害復興等の、地域創生として求められているテーマに対する考えを、専門性を超えて、文化文明的立場、経済社会的立場、市民・家族、情報化、等々の自由な立場からの発言をも歓迎します。
- ・建築学会特別研究委員会以後最近では、タウンマネージャー、ヘリテイジマネージャー他、様々な地域デザインの担い手が各立場から検討・実施されていますが、それらの個々の立場についての意見、報告、また相互関連、統合性等についての意見をも歓迎します。

◆寄稿のお願い：「建築関係者」と共に、広い立場からのご参加をも期待し尊重します。

◆「サステナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト特別研究委員会」の議論

- ・近代空間システムと場所・地域継承空間システムの関係の理解を基礎に様々な提案する
- ・地域空間文脈と都市建築空間文脈の創出・調整・編集、批評・提案を主な活動領域とする
- ・「エリア・コミュニティ」のマネジメント・デザインを統合的に扱う担い手を CA とする
- ・コミュニティデザインを「サステナブル CD」と「クリエイティブ CD」の統合とする
- ・CA 制度は「コミュニティアーキテクト」と「コミュニティマネージャー」の統合とする
- ・コミュニティアーキテクトには地域に対して、「土の CA」と「風の CA」等の立場がある
- ・共有の統合的目標の中に「路地アーキテクト」等、各テーマ CA の役割が位置付けられる